

旭化成株式会社延岡地区における天然ガス火力発電所の導入  
および天然ガス供給を担う合弁会社設立について

旭化成株式会社  
宮崎ガス株式会社  
大阪ガス株式会社  
九州電力株式会社  
日本ガス株式会社

旭化成株式会社（本社：東京都千代田区、社長：小堀 秀毅、以下「旭化成」）は、旭化成延岡地区（宮崎県延岡市）において、第3石炭火力発電所（1971年竣工、34,000kW）を天然ガス火力発電所へ更新することを決定しましたのでお知らせいたします。なお、新設する天然ガス火力発電所は2022年に運転開始を予定しています。

旭化成は、環境問題の解決を図り持続的な成長を果たすため温暖化ガス削減に取り組んでおり、高効率の天然ガス火力発電所を導入することで年間約16万トンのCO<sub>2</sub>排出量を削減し、環境負荷を低減します。

また、旭化成の決定を受けて、宮崎ガス株式会社（本社：宮崎県宮崎市、社長：橋口 光雄、以下「宮崎ガス」）、大阪ガス株式会社（本社：大阪府中央区、社長：本荘 武宏、以下「大阪ガス」）、九州電力株式会社（本社：福岡市中央区、社長：池辺 和弘、以下「九州電力」）、日本ガス株式会社（本社：鹿児島県鹿児島市、社長：津曲 貞利、以下「日本ガス」）および旭化成の5社は、2018年12月を目途に合弁会社「株式会社ひむかエルエヌジー（仮称）」を設立し、旭化成延岡地区への天然ガス供給に必要なLNG基地や導管などのインフラ設備の建設およびインフラの保有、運営を行う方向で詳細を詰めてまいります。

旭化成、宮崎ガス、大阪ガス、九州電力、日本ガスは、各社の経営資源、事業ノウハウを融合し、省エネ・CO<sub>2</sub>削減に大きく貢献できる天然ガスの安定供給および普及拡大に取り組むとともに、これらを通じ宮崎県延岡地域の発展に貢献してまいります。

（参考）本資料は、エネルギー記者会、重工業研究会、化学工業記者会、五月会、宮崎県政記者クラブ、延岡記者クラブ、福岡経済記者クラブに同時資料配布しております。

【天然ガス火力発電所の概要】

発電方式	ガスタービン CG※
出力（予定）	発電 34,000kW 蒸気 130 トン/h
建設予定地	宮崎県延岡市長浜町 4 丁目 3623 番地

※CG：コージェネレーション（*cogeneration*）

【設立会社の概要】

会社名	株式会社ひむかエルエヌジー（仮称）
本社所在地	宮崎県宮崎市
設立時期	2018 年 12 月（予定）
株主構成	宮崎ガス 51%、大阪ガス 34%、九州電力 7%、日本ガス 7%、旭化成 1%
事業内容	宮崎県延岡地区における天然ガス供給事業

【インフラ設備の概要】

LNG 基地建設予定地	宮崎県延岡市新浜町 1 丁目
設備概要	LNG タンク 6,500kL 内航船受入れ設備 LNG 気化器 ガス導管 など

以上